

平成 18 年度
予算の概要

2 0 0 6



平成 18 年(2006 年)2 月 7 日
札 幌 市

表紙デザイン

この表紙は、札幌市がデジタルコンテンツ産業の振興を目的として設立したICC（札幌市デジタル創造プラザ）のクリエイターが作成したものです。

デザインコンセプト

いよいよ平成18年度に開催されるノルディックスキー世界選手権の舞台となる「大倉山ジャンプ競技場」をスタート地点とし、道先案内人の雪だるまが未来を担う子どもたち、そして希望を乗せて、大空へ羽ばたいていく、そうした「未来への飛翔」を表現しました。

18年度予算の編成にあたって

私にとって任期中最後の本格予算となる、平成 18 年度の予算案がまとまりましたので皆さんにご報告します。

札幌市を取り巻く財政環境としては、地域経済の回復が遅れていることを背景として、基幹となる市税収入の大きな伸びが期待できない一方で、生活保護費などの扶助費や国民健康保険会計への繰出金が増加しており、18年度は200億円程度の大幅な収支不足が見込まれるなど極めて厳しい状況のもとで予算編成を行うこととなりました。

このため、予算編成にあたっては、16年度に策定した「財政構造改革プラン」に沿って内部努力や臨時的な事業の縮減を徹底し、当面の収支不足の解消に努めるとともに、市債計上額を大幅に削減するなど将来世代への負担にも配慮をいたしました。

また、こうした厳しい状況の中でも、施政方針に掲げた「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現に向けて、新まちづくり計画に位置付けた事業などについては優先的に予算配分し、計画に掲げたサービス水準など数量的な目標については、その実現に概ね目処を付けることができたものと思います。

さらに、札幌市の将来を見据えて重要と思われる子どもの関連や都市再生、市民自治といった3つの施策については、新まちづくり計画を上回る事業量を確保しつつ、計画の方向性に沿った新たな取り組みを盛り込むなど力点を明確にした予算編成に意を用いました。

このほかにも、なるべくお金をかけずに工夫して市民生活の利便性を高めるサービスアップを実現したり、地震などの自然災害への対応を行うなど、市民生活の快適性や安全性を高めるといった課題にもしっかりと応えられたものと思います。

平成 18 年度は、施政方針「さっぽろ元気ビジョン」にお示ししたことや、タウントークなどを通じて市民のみなさんとともに考えてきた取り組みが形になる年であります。これまでの成果を市民の方一人ひとりに実感していただくとともに、より多くの方々が共有できる共感へ広げるべく、行政の取り組みが「響」となってそれが多くの方に広まり、共に「振」える、『響振』というムーブメントを起こしていきたいと思っております。

札幌市長 上 田 文 雄

目 次

予算のポイント	1
予算の全体像	2
一般会計予算の概要	3
主な事業について	
元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	5
健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	7
世界に誇れる環境の街さっぽろ	11
芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ	13
ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	15
その他の取組み	17
企業会計予算の概要	19
特別会計予算の概要	21
市民一人当たりのサービスと負担	22
財政構造改革プランの取組状況と収支不足の解消	23
中期財政見通し	25
資 料	
各会計予算総括表	27
一般会計款別内訳書	29
各会計主要事業の概要	31
団体補助金一覧	49
使用料・手数料等の見直し項目	53
平成18年度中完成予定施設	54
市民の皆様からのご意見と札幌市の考え方	56

注 この概要は、今後の整理により金額その他について変更することがあります。

予算のポイント

持続可能な財政構造への転換を加速

財政構造改革プランの目標額（265億円）を上回る273億円の見直しを達成

	17年度	18年度	合計
《見直し効果額》	143億円	131億円	273億円

億円未満の端数処理の関係で各年度の合計数値は合計欄に一致しません

一般会計予算規模は17年度に引き続き2年連続の減少

会計	16年度	17年度	18年度
一般会計	8,128億円	7,935億円 2.4%	7,840億円 1.2%
全会計	15,428億円	15,553億円 0.8%	15,476億円 0.5%

一般会計市債予算額を3年連続で縮減、市債残高も2年連続で減少

区分	16年度	17年度	18年度
市債予算	788億円	643億円 (145億円)	534億円 (109億円)
市債残高	11,812億円	11,661億円 (151億円)	11,364億円 (297億円)

重要な政策課題への重点的な予算配分

新まちづくり計画に盛り込んだ施策・事業は積極的に予算化

17年度	18年度
1,166億円	1,204億円
	38億円(3.3%)の増

特に、札幌市の将来を見据えた3つの施策に力点

子育てを社会全体でサポート

少子化が進んでいる札幌の現状を踏まえて、将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つとともに、誰もが安心して子どもを産み育てることができるような環境づくりを進めます。

都市再生の推進

都心や駅周辺など、多くの人が集まる場所を中心に、既存の都市基盤を活かしながら、民間活力を呼び込み投資効果を生み出せるようなまちづくりを進めます。特に札幌の顔となる都心部において、人と環境を重視した再構築を進めて、大都市ならではの「にぎわい」や「感動」を将来に引き継げるような施策を展開します。

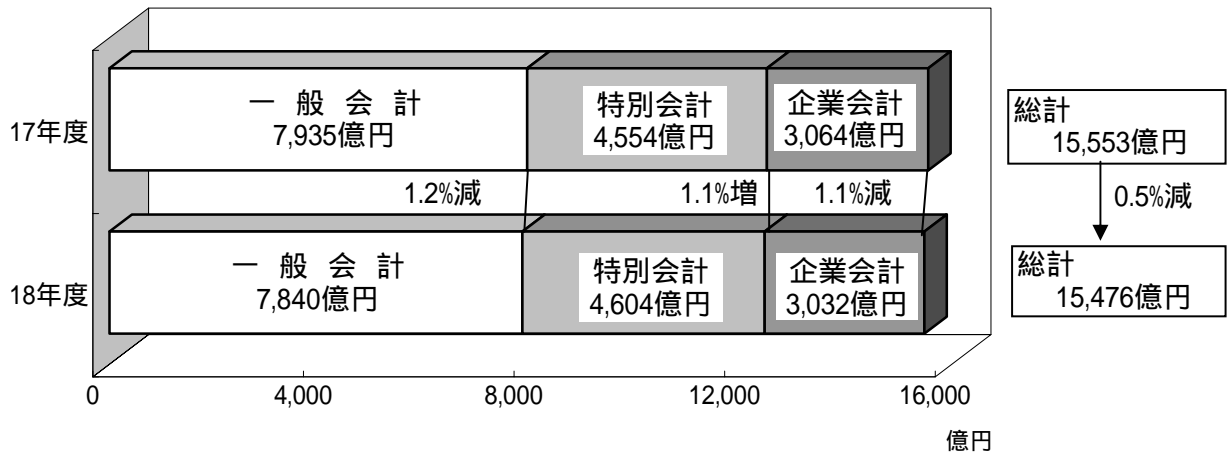
市民自治を実感できるしくみづくり

町内会、商店街、NPOなどで構成される「まちづくり協議会」が過半数のまちづくりセンターで組織されるとともに、新たに200を超える市民自治の活動団体が生まれるなど自治の芽ができて上がりつつあります。こうした市民自治の力を高めていくため、引き続き市民の活発な交流や連携を図る施策を推進します。

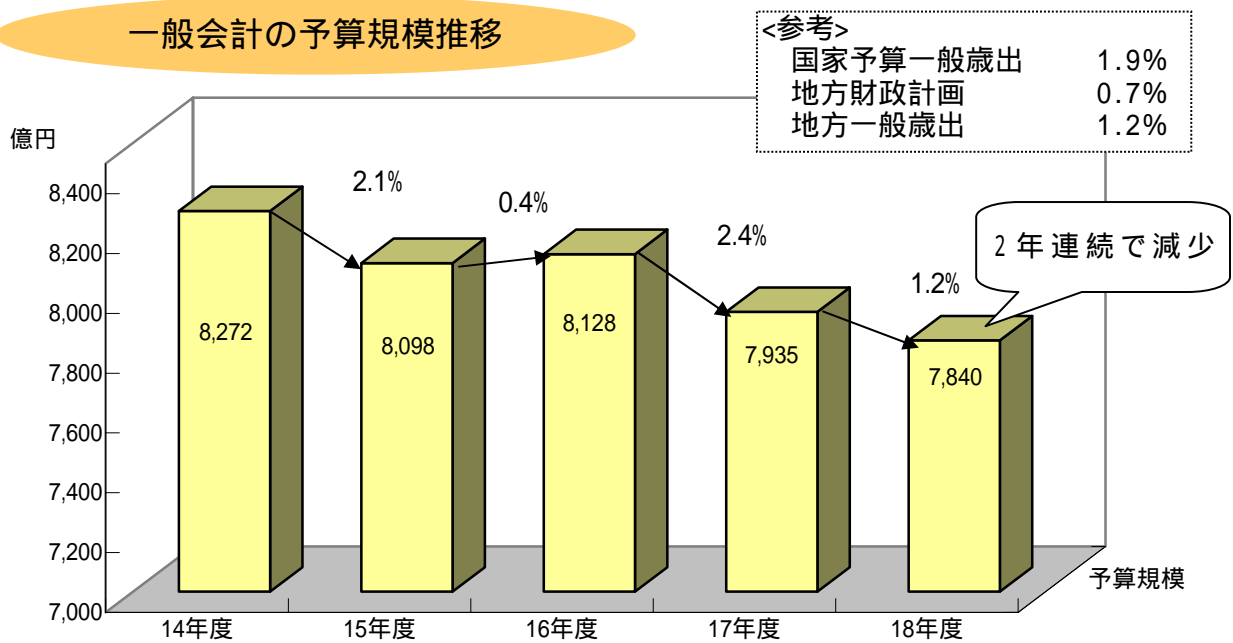
その他にも、市民生活の利便性や安全性を高める施策、障がいのある方や高齢者などの社会的弱者が元気に活動できる取組みに加えて、中小企業の経営基盤強化に向けた支援や集客交流を促進する取組みを充実

予算の全体像

札幌市全体では



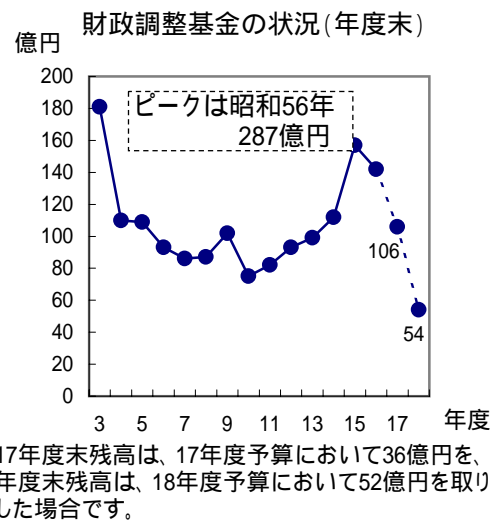
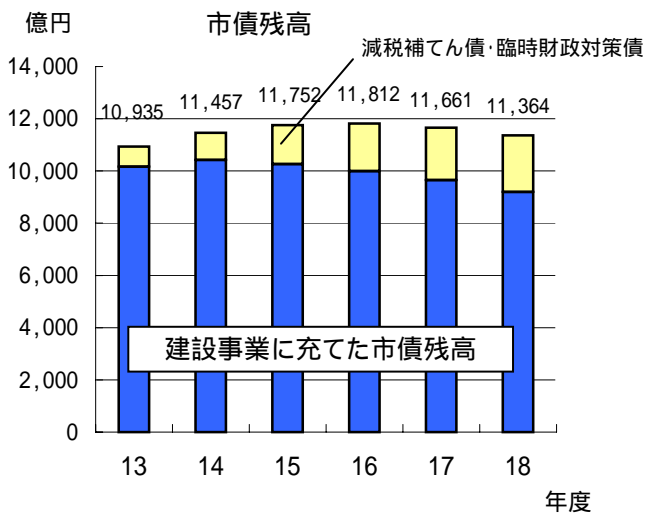
一般会計の予算規模推移



<参考>

国家予算一般歳出	1.9%
地方財政計画	0.7%
地方一般歳出	1.2%

市債残高及び財政調整基金の推移

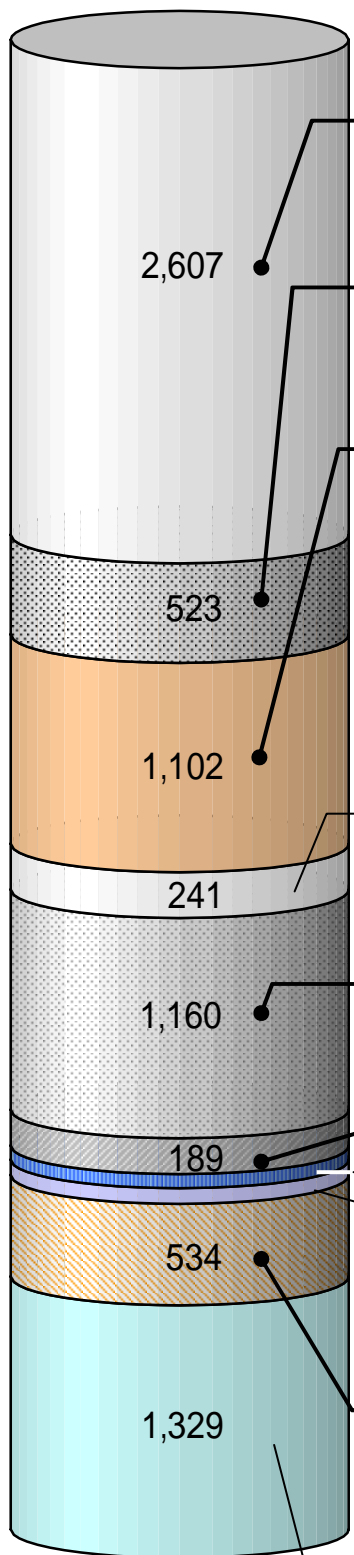


一般会計予算の概要

歳入

総額 **7,840** 億円

対前年度 95億円 (1.2%)



市税 対前年度 +10億円 (+0.4%)

評価替えにより固定資産税及び都市計画税は減少が見込まれるものの、定率控除の一部廃止や老年者控除の廃止等の税制改正によって個人市民税が増となること等により、総額で前年度予算から0.4%の増となりました。

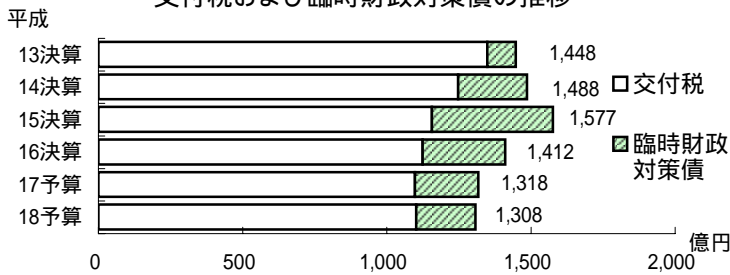
地方譲与税・交付金 対前年度 +50億円 (+10.6%)

国庫補助負担金改革に伴う所得譲与税の増等により増加しました。

地方交付税 対前年度 +4億円 (+0.4%)

ただし、交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では1,308億円となり、前年度予算から10億円の減となりました。なお、17年度決算見込額1,343億円と比較すると、35億円の減(2.6%)となります。

交付税および臨時財政対策債の推移



国庫支出金 (7.8%)

対前年度 98億円

国庫補助負担金改革による一般財源化(影響額 70億円)や建設事業の減等により、大きく減少しました。

道支出金 (+25.6%)

対前年度 +38億円

児童手当の道負担割合の変更や、障害者自立支援法の施行に伴う道負担金の新設により、大きく増加しました。

財産収入 74億円

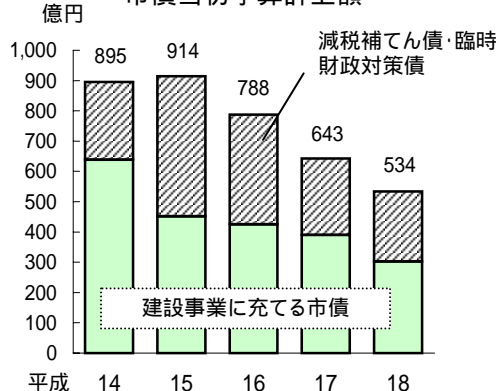
繰入金 81億円
〔うち財政調整基金 取り崩し 52億円〕

市債 (16.9%)

対前年度 109億円

建設事業や臨時財政対策債(地方交付税の欄を参照)の減少が主な要因です。

市債当初予算計上額



諸収入等

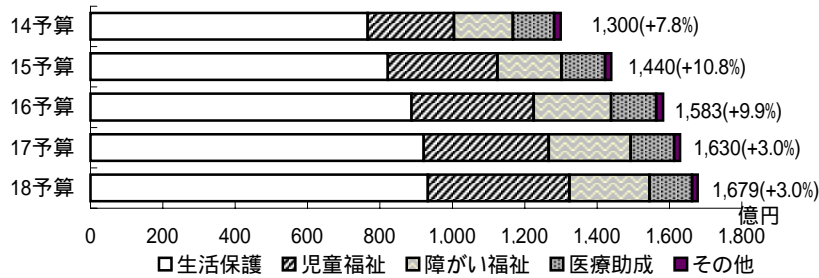
総務費 対前年度 42億円 (11.9%)

市立大学の校舎新增築が17年度で終了したこと、5年に1度の国勢調査が17年度に行われたことなどにより、大きく減少しました。

保健福祉費 対前年度 + 26億円 (+1.3%)

地域支援事業が介護保険会計へ移行したことにより高齢者関連の事業費が減少しましたが、児童手当や生活保護等の扶助費が増加したため、総額で前年度予算から1.3%の増となりました。

扶助費予算の推移 (保健福祉費分)



経済費 対前年度 + 28億円 (+3.2%)

中小企業金融対策資金貸付が増加したことが主要要因です。

土木費 対前年度 93億円 (10.3%)

除雪費(145億円 (0.9%))については概ね前年並みを確認しましたが、道路や公園、市営住宅等の事業費が減少したことで、前年度予算から10.3%の減となりました。



公債費 対前年度 + 3億円 (+0.3%)

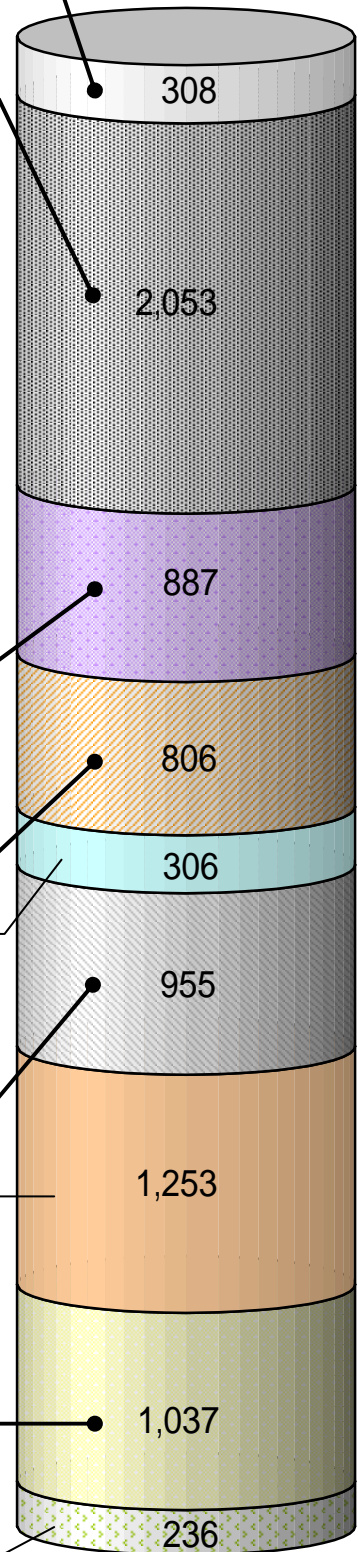
元金分が前年度より28億円増加しますが、高金利期に借り入れた市債の償還・借換えが進むため、利子分が25億円減少し、合計ではほぼ前年並みとなりました。



職員費 対前年度 16億円 (1.5%)

事務事業の委託化等により、職員数が減少したことが主要要因です。

歳 出



注)金額については億円未満を四捨五入して表示しているため、各項目の和と総額とが一致しない場合があります。